

『臥龍梅』 蔵便り

平成二十七年弥生



拝啓 寒さもようやく衰え始めた今日この頃ですが、皆様お元気でお過ごしでしょうか。

今月も話題が盛りだくさんです。二月にご報告したとおり、昨年の秋、韓国のソウルで **SHIZUOKA CITY PR CAMPAIGN** なるイベントが行政の肝いりで実施されました。居酒屋さんで静岡市の特産品である緑茶や桜海老とともに臥龍梅の販売キャンペーンを展開したのです。その際、臥龍梅の純米酒 720ml、1 本をご注文していただいたお客様には漏れなく抽選券が配られました。その商品というのが韓国～静岡間の往復航空券と市内ホテル宿泊のペアチケットで、さる 2 月 20 日、その抽選に当たったラッキーなカップルが蔵に来場されたので



す。旦那さんが「パク スンヒョン」さん、奥さんが「パク ソヨン」さん、というご夫婦です。旦那さんは今回の臥龍梅販売キャンペーンに参加した「気分」という居酒屋の経営者ですが、たまたま抽選に応募した奥さんが当たったのだそうです。パクさんにいただいたキャンペーン中の店内の写真をご覧下さい。こうして自分の知らない異国の地で臥龍梅が愛飲されているのを見ると、わずか 10 年ほど前



に売り出したお酒がいつの間にか独り歩きしている姿を見るようで、感慨深いものがあります。ご夫妻に備前雄町の純米大吟醸を試飲していただいたところ、気に入ってお土産にお買い求めいただくとともに、韓国の地で臥龍梅を応援して下さることを約束してくださいました。さて、毎年この季節になると気になるのが清見寺の臥龍梅の開花状況です。何しろ徳川家康お手植えの樹齢四百年という老木です。はたして満身に咲いてくれるかどうか心配していたところ、地元の友人の A さんが写真を撮ってメールで送ってくれました。さすがに満開とはいきませんが、当分は安泰だろうと胸をなでおろした次第です。今月の 8 日(日)には地元のホテル・クエストさんで**静岡の美酒「臥龍梅」と静岡イタリアンを愉しむ会**が開催されました。今年で二回目ですが、今回は地元興津の **TEA 豚**(伸び伸びした環境で緑茶を飲ませながら飼育された豚)を素材にしたお料理とのマリアージュというところが売り物です。何はともあれ、会場のお客様方には、**開場十里香**に始まり、**山田錦 35%、備前雄町 50%、短禪渡船 50%**と続く純米大吟醸酒を十二分に堪能していただきました。なかでも一番人気はやはり**開場十里香**でした。最後には恒例のじゃんけん大会で大盛況のうちに会は終了いたしました。



さて、今月はその**愛山 40%精米の純米大吟醸、開場十里香と山田錦 35%精米の純米大吟醸**をご案内いたします。両方とも昨年 3 月に発売とほぼ同時に売切れてしまったお酒です。今年は頑張って増産しておりますが、いずれにせよ希少な商品ですのでお早めにご注文ください。

早春の候、皆様にはますますお元気ですごされんことを。

敬具

平成 27 年 3 月吉日

鈴木 克昌